

こどもの交通事故防止

歩行中の年齢別死傷者は、7歳児が突出！

4月は新入学シーズンです。

今まで保護者と一緒に行動していたこどもが、その手を離れて、一人で道路交通という場に出ていくのも、この季節です。

そこで心配なのが、交通事故です。

歩行者の事故のうち、最も多いのが7歳児の事故です。

特に、新一年生は、新たに交通社会の一員となりますが、道路上の危険に関する知識が未熟な上、保護者と離れてこども同士で行動する機会が増えるため、交通事故に遭う危険性が高まります。

小学生歩行中の交通事故は、下校時からの時間帯に多発！

小学生の歩行中の交通事故が多発する時間帯は、15時～18時です。

下校中、下校後に外出してから帰宅する際など、こども達自身が交通事故に遭わない安全な交通行動を取ることが必要です。

保護者やドライバーの皆さんへのお願い

保護者の皆さんは、新一年生に交通ルールやマナーを教えるためにも、これから通ることになる学校までの通学路を一緒に歩いて、道路の飛び出しがどんなに危険かを教えてあげてください。

その上で、安全な道路の渡り方など交通安全に向けたルールを教えてあげてください。

ドライバーの皆さんは、こどもの動きに注意して運転し、交通事故を防ぎましょう。



年齢別歩行中死者数（R1～R5）



小学生歩行中の時間帯別死傷者数（R1～R5）

